

休日都心来訪行動と駐車行動との関連性分析

広島大学大学院国際協力研究科 学生会員 ○日下部達夫
広島大学大学院国際協力研究科 正会員 張 峻屹
広島大学大学院国際協力研究科 正会員 藤原 章正

1. はじめに

近年、都心の空洞化が懸念される中、多くの都市で来街者を増加させて都心の活性化を図る努力がなされている。活性化策の一つとして、都心部全体としての駐車場利用の効率化、交通流の円滑化を図ることが挙げられる。そこで、本研究では休日の自動車での都心来訪者を対象に、駐車場利用と都心内活動の実態を調査して、駐車場選択が都心内活動に与える影響を分析することを目的とする。

2. 対象データの概要

広島市都心部における駐車場利用と休日活動の実態を把握するため、個人属性や駐車場の利用（駐車場の選択、駐車場情報の入手、滞在時間、料金など）と都心内活動（活動内容、訪問場所など）について、都心駐車場利用者を対象とし、都心の7ヶ所の駐車場でアンケート調査を2003年10月中旬に実施した(図1)。

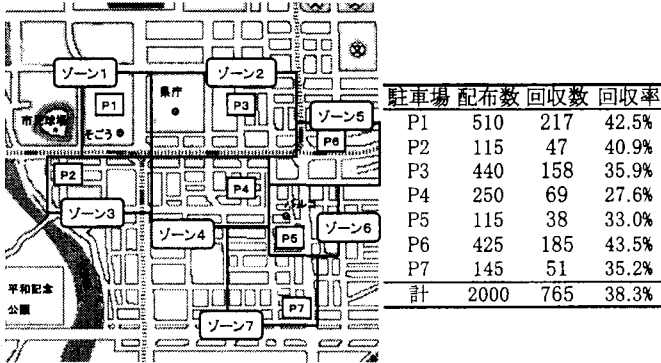


図1 調査対象駐車場とゾーン及び調査票回収状況

今回の調査で得られた全765サンプルの属性を図2に示す。図2から、性別、年齢ともにサンプルの構成比に偏りは見られない。職業については、定職についてない方が3割強を占め、そのうちの5割は専業主婦である。広島市内在住者が約7割を占める。都心訪問頻度について、9割の方が月に1回以上都心を訪れていると答えており、駐車場や活動場所に関して学習を繰り返していると考えられる。また、都心の訪問目的については、8割強の来訪者が買い物と食事をしていることがわかる。

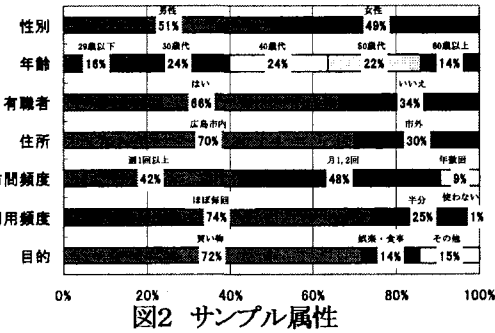


図2 サンプル属性

3. 広島都心部における駐車場の利用実態

アンケート調査の結果から、平均駐車時間は127分/回、平均利用料金は623円/回、駐車料金割引利用率は63.2%であることが分かった(表1)。割引利用率が高いことから、駐車場選択行動と都心での消費行動との間に何らかの関係があると同える。

表1 駐車場利用状況

平均駐車時間	127分
平均利用料金	623円
割引使用率	63%

また、駐車場利用者が認知している駐車場は都心部全体に分布している(図3、図4)が、当日自宅出発前に考慮する駐車場の数は平均1.7箇所と絞られている。駐車待ちをした人は17%を、駐車場の混雑や情報提供を受け駐車場を変更した人は6%をそれぞれ占めている。つまり、広島市都心部の駐車場利用者の多くは、待ち時間があっても希望どおりの駐車場に駐車している。言い換えると、駐車場利用者への情報提供の効果として、選択肢集合や選択結果の変化はあまり期待できないが、確認の効果(何割の人が情報を使用しているかを示す)があることがみられた(図5、図6)。

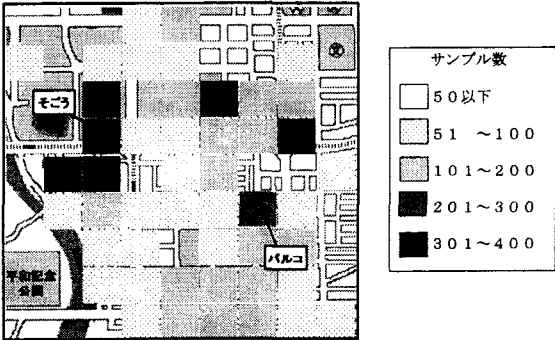


図3 認知している駐車場が存在するエリア

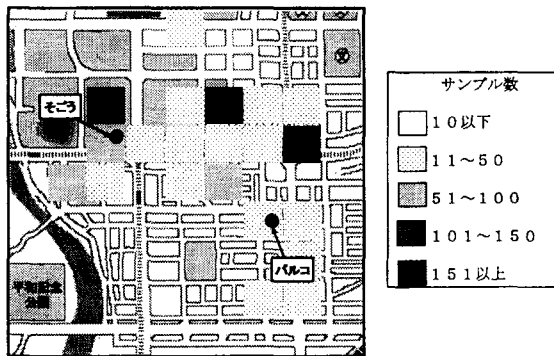


図4 当日自宅出発前に考慮した駐車場を含むエリア

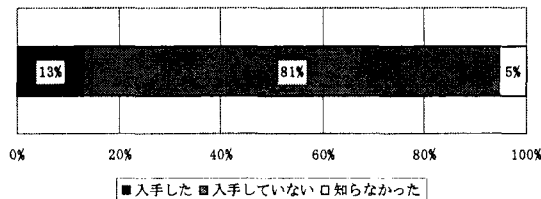


図5 駐車場情報の入手

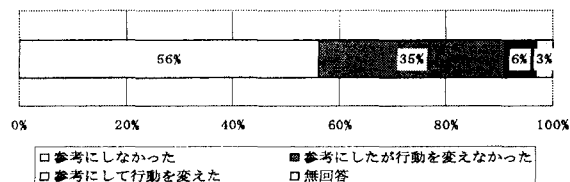


図6 情報入手後の行動

4. 広島市都心部における休日都心来訪行動の現状

都心内活動範囲を図7に示す。そごう、天満屋、福屋、パルコといった施設を中心に活動をしている人が多く、本通りや電車通りなど道沿いのショップでの活動もみられる。都心の土地利用の特徴としてショップの分散、大規模商業施設の立地が挙げられ、それぞれの商業施設特性に合った行動結果だと考えられる。また、駐車場から最初に訪問する施設までの歩行距離が600m、都心内の総歩行距離は1,000mという一定値を超えると負担に感じていることがわかった。また、都心での滞在時間が長くなるほど、休憩・食事活動の割合が増えることがわかった(図8)。

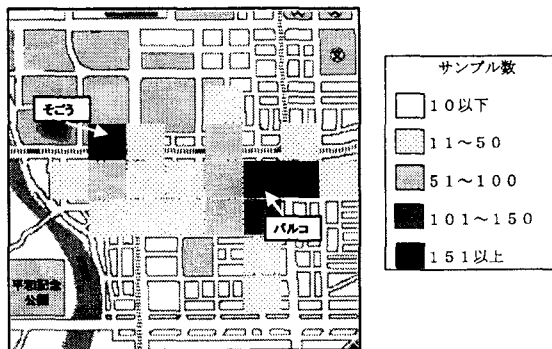


図7 都心活動エリア

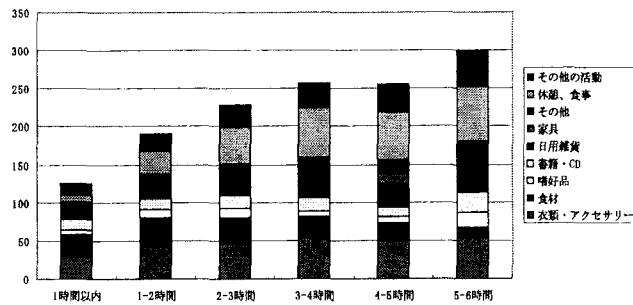


図8 滞在時間別活動数

5. 利用者特性と休日活動との関連性

駐車場選択と休日活動の関連性については、異なる駐車場の特性(大型商業施設に隣接しているか否か)をもつ基町クレドパーキング(P1)と市営基町駐車場(P3)それぞれの利用者の活動状況(活動範囲)より、回遊行動(回遊範囲)が異なることが確認できた(図9)。

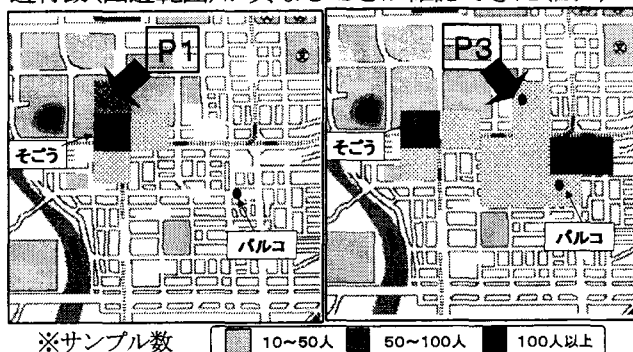


図9 駐車場特性と活動場所の関係

また、図10では、それぞれの駐車場利用者の各エリアにおける活動平均滞在時間分布を表した。活動距離が伸びると滞在時間が長くなる傾向が見られる。

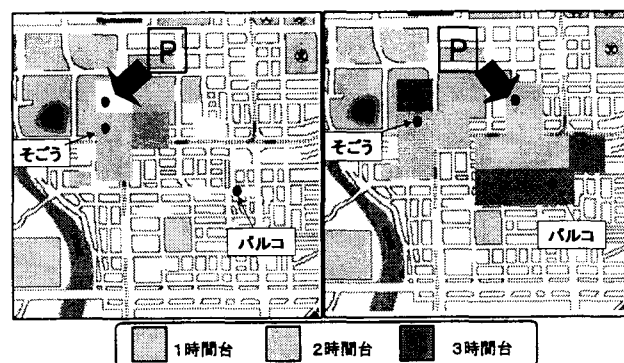


図10 駐車場利用者の活動エリア別滞在時間

6. 結論

広島市都心部の駐車場利用者の特徴として、大型商業施設以外を訪問する人の都心での回遊行動が活発であることが挙げられる。来訪者の回遊行動を増加させるためには、このような都心での活動パターンを考慮した駐車施策を図っていく必要があると考えられる。